

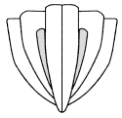
楯岡中通信

村山市立楯岡中学校

第 1 号

入学式特集号

令和 2年 5月 11日



「学ぶとは真実を胸に刻むこと」

116 名の新入生入学式(4月8日) 笹原 聡 校長の式辞より (一部抜粋)

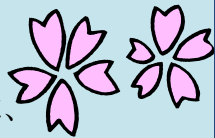


116名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

新入生の皆さんは、これまで、それぞれの学校の最高学年として、学校の柱となり、学習や行事を引っ張ってきたことでしょう。小学校で身につけてきた、さまざまな力をもとに、これからは中学生として、さらに、自分を磨いてください。

「学ぶとは真実を胸に刻むこと」

フランスの小説家であり詩人でもあるルイ・アラゴンという人の言葉です。この言葉は、山形にある東北芸術工科大学の正面玄関の壁に大きな額となって掲げられてあります。



「学ぶとは真実を胸に刻むこと」

さて、真実を胸に刻むとはどういうことでしょうか。真実とは、校歌の一番にもある「真理」、つまり、人間が得ることができるあらゆるよさのことだと思います。それを胸に刻むことこそが、「学ぶ」ということです。言い換えれば、頭で学ぶこと、心で学ぶこと、体で学ぶこと、「知・徳・体」のバランスのとれた人間をめざすことが、「学ぶ」ことだと思います。そのことは、本校の校訓「学ぶ 響く 琢く」にもつながると私は感じました。

しかし、今年は、いつもの年がないことも申し添えなければなりません。新型コロナウイルスの感染が終息しない中で、今、入学式を挙行しているということ、そして、明日から再び臨時の休業を行わなければならないということです。残念でなりません。しかし、健康や命にはかえられません。みなさんも、そのことを正しく受け止め、胸に刻み、学校再開に向けて、それぞれが工夫をして、頭で学び、心で学び、体で学び、自らを磨く努力を行ってください。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日より、大切なお子様を、本校の大事な生徒の一人としてお預かりいたします。私ども、教職員は、学校教育目標である「感性をみがき、未来を生きぬく力」を持った生徒の育成を目指し、尽力するつもりでおります。新型コロナウイルスの影響が心配される今だからこそ、なおさら、保護者の皆様と、私どもと手を取り合いながら、お子様の成長のために、ともに歩んでくださいますよう、本校教育活動へのご理解とご協力を、心より願います。

さあ、新入生のみなさん。みなさんは、今、真っ白いキャンバスです。どんな構図で、どんな色をつかって、どんなタッチで、どんな絵を描くかは、みなさん次第です。そして、作者はあなたです。頭と心と体で学び、他人のまねではない、自分らしいオリジナルの素敵な人生の絵を刻んでいきましょう。「学ぶとは真実を胸に刻むこと」です。

最後に、新入生116名を加えた364名の楯岡中が、今年度、さらに力強く前進できるよう、私ども教職員一同、心からの愛情を持って、全力で生徒全員と向き合うことを誓い、式辞といたします。

入学おめでとう 入学式ピンナップ



新入生入場

4月8日(水)
保護者の皆様が見守る中、
116名の新入生の入学式
が厳かに行われました。
真新しい制服に包まれた
新入生は、緊張した面持ち
ながらも初々しい様子で
した。新たなスタートです。
がんばれ～!



新入生の真剣なまなざし 間隔をとった会場



新入生呼び上げ 大きな声で



新入生誓いの言葉 (全文) 新入生代表 植松実央さん

暖かな春の訪れとともに、私たちは楯岡中学校の入学式を迎えることとなりました。本日は、このような大変な時期に、心のこもった入学式を開いていただき、本当にありがとうございます。

今日から私たちは、楯岡中学校の一年生です。新しい教科や、自分の好きなことに打ち込むことができる部活動、新しい友達や頼りになる先輩など、楽しみなことがいっぱいです。その反面、部活動と勉強を両立することができるだろうかという不安もありますが、新入生同士、不安や悩みを分かち合い、助け合い、共に成長し、実りある三年間にしていきたいと思ひます。

この度のコロナウイルスへの対応において私たちは、当たり前だと思っていることが実は「有難いこと」だと実感しました。平和な生活が送れること、学校に来て勉強や運動ができること、家族や友達と笑い合えること、全てのことに感謝の気持ちを持ち、一日一日を大切に、夢に向かって努力を続けていきます。

また、楯岡中学校の一人の生徒としての自覚をもち、校訓である「学ぶ 響く 琢く」を意識しながら、歴史と伝統を受け継ぎ、よりよい楯岡中学校を築いていけるように頑張ります。

先生方、地域の皆様、保護者の方々、先輩方、ご指導よろしくお祈いします。



歓迎の言葉 (抜粋) 生徒会副会長 丸山霸王さん

楯中生が大切にしているものを三つ紹介します。まずは授業です。中学校での学習は、小学校のものからレベルアップし、自分で自分の力を伸ばしたり、興味のある分野を探したり、高みを目指して挑戦したりするものです。私が特に力を入れている教科は英語です。英語を学ぶことによって、日本語以外でコミュニケーションをとる楽しさを味わうことができます。基礎を固め、それを土台に仲間とやりとりする中で、自分が見ているものや考えについて、英語で伝えられるようになっていきます。次に学校行事です。運動会では、全校生が白軍と赤軍に分かれて全力でぶつかり合う熱さが心を揺さぶります。全力で競技をした後に、お互いが健闘を称え合うときの清々しさは、最高の思い出になります。文化祭では、クラス全員で一つの合唱を創り上げるという楽しさがあります。時には意見が食い違ったり、目指す場所を見失ったりするときも出てきます。しかし、そういった大きな壁を越えた先にある、完成に向かって心一つになれている実感を持つた時には、自然と笑みがこぼれてきます。最後に生徒会です。特に自分たちで「あいさつの楯中」と呼んでいるように、あいさつに誇りを持っています。あいさつすることによって、する方も受ける方も心地よさを味わえます。また、ただ言葉を掛けるだけでなく「あいさつクラスマッチ」や「部活動あいさつ運動」を行うなど、一年を通して力を入れています。新入生の皆さんも、ぜひ参加してみませんか。



入学祝品贈呈 代表 高橋康大さん



教科書給与 代表 森 逢志さん



新入生退場

臨時登校ピンナップ



4/7 始業式の朝
新クラスを確認

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休業中に、臨時登校日を設けました。
時間限定の分散登校ではありましたが、各学年とも生徒たちは元気に登校しました。



4/23 1年生
学年担任団との
顔合わせ

4/23 2年4組
楯中LIFEを使って
セルフコントロール



5/7 1年2組
初めての授業は
美術です

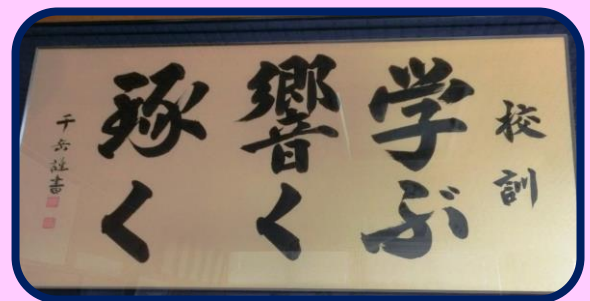
5/8 3年1組
3年生も楯中LIFE
を使って自律した
時間のつかい方を
目指します



ありがとうございます

ご退職された 笹原茂隆 第6代校長先生より、
学校に鈴木千岳 氏 揮毫（きごう）の額入りの書、
校訓「学ぶ 響く 琢く」をいただきました。

大事に展示させていただきます。



よろしくお願いします！ 新任者です

校長	笹原 聡	村山市教育委員会より
教諭	平塚 節	東根市立神町中学校より
教諭	三浦 忠好	尾花沢市立福原中学校より
教諭	西村 俊也	尾花沢市立福原中学校より
事務主査	唐橋 紀子	村山市立楯岡小学校より
講師	結城 吉夫	東根市立第一中学校より
非常勤講師	天野 裕子	尾花沢市立福原中学校より
技能副主任	村岡 久光	村山市立葉山中学校より

楯中点描

◇4月7日、新任式、始業式が行われました。
私を含め8名の教職員が赴任しました。どうぞ
よろしくお願いいたします！
◇新型コロナウイルスにより前例のない学校休業の中
での新年度のスタートとなりました。これか
ら、感染防止を踏まえた学校運営をしてま
いります。また、行事などの教育計画の変更
も行っていかなければなりません。
ご理解とご協力を心よりお願いいたします。

○楯岡中学校、今年度も地域の皆様とともに
頑張っていくつもりであります。どうぞ、
よろしくお願いいたします。

お詫び 5月10日に予定していた「資源回収」は、
回覧でお知らせいたしましたとお中止いたしま
した。ご用意してくださっていたことに対し、感謝と
ともにお詫びを申し上げます。秋は実施する予定で
おります。改めて連絡させていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします。

文責：校長 笹原 聡